

1 学年だより

令和3年10月20日(水)

夢の宅配便

1 年学年主任

水野 喜代治

三の丸ホールでの歌声

1945年、太平洋戦争の敗戦により日本経済は壊滅状態となり、多くの尊い命が奪われ、国民の深い悲しみに落とされました。戦争中は演劇や音楽などの公演や演奏は制限され、経済活動が破たんし、多くの尊い命が奪われた悲しみの中で戦後の日本の復興が行われました。このような中、1962年(昭和37年)に小田原市会館ホールがつくられました。戦争中は演劇や音楽の文化に触れ合う機会が国家によって奪われていました。戦後の復興のシンボルの一つとしてつくられた市民会館ホールは小田原市民の文化の発信地として大きな役割を担ってきました。

私も、小学校の時に市民会館のホールで合奏をしました。眩しいスポットライトを浴びて、月の砂漠を演奏しました。私はトライアングルを担当しました。いまでも、当時は近代的な文化ホールであった小田原市民会館大ホールのあの空間と空気を思い出します。約60年の歳月もを持って、小田原市民会館は閉館し、その役割を果たしました。そして代わって、今年、三の丸ホールが新たに小田原市の文化の発信地としてスタートしました。素晴らしく洗練されたデザインのホールに入館しただけで芸術にしたれる空間となっています。今日は、このホールで城山中学校が合唱発表会を行いました。市内の中学校では、城山中が最初だということです。今日は、1年1組、1年2組、1年3組と1年生らしい歌声でとても良かったと思います。本番は練習をうわまることはありません。今日の歌声で歌えたということは、練習であそこまで、歌えていたということです。短い時間ですがよく取り組んだと思います。指揮者の方、伴奏者の方、パートリーダーの方、合唱係の方、今日まで本当にお疲れさまでした。そして、リーダーに協力したクラスのみなさん、お疲れ様、みなさんに拍手です。今日あのステージに上がった時の空気とライトの光、ドキドキした気持ちは、大人になっても忘れずにみなさんの心に残ることと思います。私が60年前の市民会館でのことを覚えているように。友達と歌った絆の合唱を大切にしてください。お疲れさまでした。